

HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会長 原 郁夫 幹事 柳川清紀 会報委員長 桐山晃忠



ロータリー:変化をもたらす

2017年～2018年度国際ロータリー会長
イアンH. S. ライズリー

第1569回例会 2017年10月19日(木)(雨)

移動例会

於: 米山梅吉記念館

スケジュール

10:30 集合&商工会議所出発
11:45 柿田川湧水公園
12:50 昼食 / 和食 やぶ
14:00 ~ 米山梅吉記念館 (移動例会)
15:30
15:45 ジャンボひものセンター
17:15 商工会議所到着

合唱 「我等の生業」 (酒井健一さん)

ビクター紹介 第2780地区米山奨学・学友副委員長

矢野 一博様 (秦野中 RC)

かながわ2780REクラブ 会長 原 いづみ様

副会長 田代 晴香様

大塚 和光様

齋藤 達彦様

会長の時間



会長挨拶

○米山月間に因んで、米山梅吉記念館に訪問します。本来なら新人の方によく出席して頂きたかったと思っています。例会は記念館にて行いますのでよろしく願い致します。

移動例会

司会 鈴木和夫副幹事

点鐘 原郁夫会長

| | |
|--------|--------|
| 会員数 | 34名 |
| 出席義務 | 32名 |
| 出席数 | 16名 |
| 出席率 | 47.06% |
| 前々回の修正 | -% |

| | |
|--------|-------------------|
| メイクアップ | 【事前】 |
| | 古谷さん・関さん |
| | (10/5 3G合同新会員の集い) |
| | 瀬戸さん(10/17 小田原城北) |

| | |
|----------|---------|
| 本日のプログラム | 10月19日 |
| | ○移動例会 |
| | 米山梅吉記念館 |

| | |
|----------|-----------|
| 次週のプログラム | 10月26日 |
| | ○ガバナー公式訪問 |
| | 大谷ガバナー |

○米山月間ということで本日米山梅吉記念館に伺いましたが、当 RC としては過去 2 回訪問しています。特に今回は新しい会員の方に来て頂きたかったのですが、生憎参加者が少なく残念でした。

○ロータリーというものは、高い月謝を払うというのではなく成功した方たちは米山さんと同じようにこれからの日本や世界の若者たちに返していこう、配っていこうという心の持ち主の集まりだと思っています。

今日は矢野さんの卓話とその後の記念館の学芸員の方の案内を受け、是非一日“米山”について勉強して頂きたいと思います。

スマイル報告

○秦野中 RC 矢野一博様「米山月間にお呼び頂きましてありがとうございます。楽しい例会になりますようよろしくご協力をお願いを致します。移動例会が米山梅吉記念館での卓話に感謝申し上げます。」

○原郁夫さん「矢野さん、本日はよろしくお願い申し上げます。メンバーの皆様、雨の中ありがとうございます。」

○柳川清紀さん「矢野さん、よろしくお願い致します。」

○かながわ 2780REC 原いづみ様「本日は貴クラブ移動例会へのお誘い頂きありがとうございます。4 名のみ参加ですがよろしくお願い致します。」

○かながわ 2780REC 田代晴香様「本日は移動例会に参加させて頂きます。皆様どうぞ宜しくお願い致します。」

○かながわ 2780REC 大塚和光様「『新しい道を探せ。他人の地図を広げるな。』」AKB48 秋元康氏の言葉です。E クラブの若い会員と新しい地図を描くのが楽しみです。」

○かながわ 2780REC 齋藤達彦様「本日は米山記念奨学会の起源を学びに伺いました。分からぬ点多々ございますが、梅吉翁の足跡を辿らせて頂ければと思います。」

○鈴木和夫さん「米山梅吉記念館にやってきました。矢野地区米山奨学、本日の卓話ありがとうございます。」

○大屋富茂さん「米山記念館を拝借させて頂きましての例会です。よろしくお願い致します。」

○北村まり子さん「矢野様。ご苦労様です。」

○木村眞澄さん「今日は米山記念館訪問です。スマイルします。」

○原恵美子さん「雨の柿田川とても素敵でしたね。スマイルします。米山記念館初めてです。今日はよろしくお願い致します。」

○諸星道治さん「米山記念館初見学にスマイルします。」

○山田文雄さん「酒井さん、たまには家族団欒で食事して下さい。」

○米山君夫さん「本日は遠い米山記念館に訪問致しました。何十年振りの訪問です。建物もきれいに立派になりました。」

た。」

○酒井健一さん「今日は移動例会です。よろしくお願い致します。」

「次年度の打ち合わせ会、諸星会長エレクト御馳走様でした。(超多額のスマイルを頂きました。)

合計 61,000 円

卓話

第 2780 地区米山奨学・学友副委員長

矢野 一博様 (秦野中 RC)



○10 年前に会長だった時に、この記念館を訪問させて頂き、その時には経済と地域社会の発展というテーマがあり、近くのハム製造工場を社会見学した楽しい思い出がよみがえります。

私は 35 才の時にロータリーに入会させて頂き、現在 36 年目になっているわけですが、私の取柄は無欠席ということでした。

○今日の卓話は、10 月は 6 つの重点分野の一つである「経済と地域社会の発展月間」と日本独自の「米山月間」について少々お話しさせて頂きます。

平和を愛し、青少年に手を差し伸べた“日本ロータリーの父”米山梅吉翁の遺徳を記念する事業として国際奨学事業を始めました。この東京 RC が始めた事業は日本全国の RC の共同事業として発展し、当時の文部省の許可を得て (財) ロータリー米山記念奨学会が設立されました。今年で 50 周年の歴史を持ち世界に類を見ない日本独自の他地区合同奉仕活動となっています。

○では、米山記念奨学生を選考についての方法は？ということでお話しします。

国内 34 地区に選考委員会があり、独立性を持って選考します。因みに 2780 地区では指定校が 17 校あります。選考された留学生は、書類審査・面接選考を行い決定します。選考する上で、面接は出来るだけ多くの方に受けて頂こうと思っていますがなかなか資金が不足がちなので資金を集めながら学友会の方へ応援するということも、また 2780 地区の行事としても大切なことでもあります。2780 地区でも予算を削られており、なかなか思うような予算計上ができません。

さて、選考の流れは①申込書の提出、②大学での選考、③地区への申し込み、④地区での選考、⑤合格発表 となっています。選考試験に合格しただけでは米山奨学生にはなりません。4月のオリエンテーションに出席し、確約書の提出を以って受給します。新規学生は全国で613名、内2780地区では新規学生は25名となっており世界12か国からの奨学生となります。因みに新規奨学生の他に継続者も若干名おります。

○では寄付金の傾向はどうなっているのか？2016～2017年度では普通寄付と特別寄付を合わせ13億7,300万円となります。2780地区では個人平均寄付額は20,566円で今年度大谷ガバナーが地区運営方針として、米山奨学会への寄付増進、一人当たり20,000円以上の目標を掲げられておりますので、これからもご支援よろしくお願い致します。

○《統計》

<2017年5月31日現在>

全世界ロータリアン総数： 1,236,554人
 クラブ数：35,533クラブ
 地区数：539地区
 国と地域：200以上

<2017年6月末現在>

日本(34地区)
 会員数：87,958人
 クラブ数：2,273クラブ

<2017年7月末現在>

2780地区会員数：2,359人
 そして2017年度では現役奨学生を含めこれまでに19,808人(125か国)の留学生を支援して来ました。

<2018年度地区別奨学生割当数>

2018年度採用数：820名
 2780地区の割当：29名(2017年度：27名)

<データで見る米山学友>

1. どこの学校の額映画多い？
 ①東京大学、②筑波大学、③大阪大学、④名古屋大学、⑤信州大学
2. 学友会はいくつある？
 42学友会⇒ 国内：33団体、海外：9団体
3. 今どんな職業についているのか？
 ①教育、②企業、③研究所、④医療、⑤自営
 となっています。

○米山梅吉翁とポール・ハリスは1868年(明治元年)生まれて同じということも不思議な縁と思います。海外から一人でも多くの留学生を迎え入れて平和日本を肌で感じてもらう、これこそが日本ロータリーに最も相応しい国際奉仕事業であると思っています。米山記念

奨学事業の国際奉仕として重要性を認識して頂き、地区米山奨学委員会に力添えを賜り、クラブ会員の皆様のご支援をよろしくお願い致します。



○「赤いくつ」は実在の女の子の話しと知っておられると思います。明治34年に清水市に生まれ、名は“きみちゃん”と言いました。母親が未婚だったので大変厳しい状況で3才の時に北海道の函館に開拓団として行きました。開拓団では小さな子が生活するのは大変厳しく宣教師に養女として預けられました。

開拓団は失敗し、母親は再婚し札幌に移り再婚相手が新聞社に勤めていた時に野口雨情と知り合いました。母親が“きみちゃん”の話しをし、それを聞いた雨情が詩を作り本居長世さんが曲を付けたわけです。

ここで宣教師はアメリカに帰国する際に“きみちゃん”を連れて行こうとしたが、既に結核にかかっていた“きみちゃん”は麻布の鳥居坂教会の孤児院に預けられ、母親に会うこともなく9才で亡くなりました。

当時北海道テレビに勤めていた菊地寛が5年の歳月をかけ調査し、実在した子供だということ麻布十番の商店街の方々がこんな不幸はあつてはならないとの思いから赤い靴を履いた“きみちゃん”の銅像を平成元年に建てました。

この像の台座は募金箱になっており、浄財は世界の恵まれない子にユニセフ等を通じて寄付されております。

<ハーモニカ演奏>

- ①赤いくつ、②雨の中の二人、③明日があるさ



<卓話御礼>



柿田川公園

